

平成 28 年度牧之原市当初予算案について

1 当初予算案の総額

	予 算 額	(前年度比	伸び率)
一般会計(歳入歳出)	1 9 4 億円	(△6 億円	△ 3.0%)
特別会計(歳入歳出)	1 0 8 億 5, 1 2 6 万 9 千円	(△2 億 6, 653 万 7 千円	△ 2.4%)
合 計	3 0 2 億 5, 1 2 6 万 9 千円	(△8 億 6, 653 万 7 千円	△ 2.8%)

2 当初予算案の概要

(1) 総括

【一般会計】

- ・今年度の予算は、前年度比 6 億円、率にして 3.0%の減となっているが、予算規模としては過去 2 番目の大きさで 3 年連続の積極型予算である。国の補正予算に伴い都市防災事業など 6 億 2,000 万円程を平成 27 年度予算へ前倒ししたため、前年度比で減額となった。
- ・今年度は、「人口減少・少子化対策」、「地震津波対策」及び「地域経済対策」の 3 つ柱に重点を置いた予算編成を行った。
- ・「人口減少・少子化対策」として、移住・定住支援に 2,900 万円、妊産婦通院等支援に 1,050 万円、放課後児童クラブ対象学年の拡大や認定こども園整備（待機児童発生防止対策）などの子育て世代支援に 3 億 1,782 万円を計上した。
- ・「地震津波対策」では、事業計画の最終年度となる津波避難タワーや防災公園、津波避難地避難路整備などの都市防災事業や地頭方漁港海岸の防潮堤整備などで 10 億円を超える予算を確保した。
- ・「地域経済対策」については、東名高速道路相良牧之原インターチェンジ北側区域の開発事業や東京五輪開催地・事前合宿地等誘致事業、ふるさと納税推進事業などに 2 億 1,432 万円を予算措置した。
- ・そのほか、光ファイバ網整備事業に 5 億 8,689 万円を、地域の医師不足対策として開業医への助成 5,000 万円などを新たに予算化した。
- ・「活力を取り戻す」地方創生関連事業予算は、総額 13 億 6,800 万円余りで前年度比 214% を計上し、地方創生事業にも積極的に予算配分を行った。
- ・歳入歳出の差額については、財政調整基金繰入金 9 億 5,000 万円と、臨時財政対策債 5 億 5,000 万円を計上し調整した。
- ・市債残高は、平成 28 年度末においても 200 億円未満を維持することができ、実質公債費比率も低下を続ける見込みである。

【特別会計】

- ・国民健康保険特別会計は、景気回復により被保険者数が減少となり減額となる。
- ・後期高齢者医療特別会計は、保険料の賦課見込みなどに基づく予算である。
- ・介護保険特別会計は、平成 27 年度からの 3 ヶ年計画に基づく予算を計上している。
- ・土地取得特別会計は、土地の売払いがなくなったことで減少している。
- ・農業集落排水事業特別会計は、維持管理に係る経費で前年度と同額になっている。

(2) 歳入（一般会計）

- ・市税は、前年度比 2 億 9,877 万円、率にして 3.8%の減の 74 億 8,924 万円を見込んだ。中でも、法人市民税は、税率の引き下げが通年に及ぶことに加え、新興国経済の景気減速の影響などから、前年度比 2 億 9,050 万円の減となる 8 億 3,050 万円を計上した。
- ・地方交付税のうち普通交付税は、市税の減収を反映させ、前年度比 2 億円増の 18 億円とした。
- ・国庫支出金は、道路新設や都市防災に係る社会資本整備総合交付金の減などにより、25 億 247 万円とし、前年度比 6 億 4,177 万円、20.4%の減となった。
- ・県支出金は、光ファイバ網や介護施設の整備などから前年度比 3 億 4,419 万円の増で 17 億 5,027 万円となった。
- ・寄附金は、ふるさと納税を前年度比 2 億 5,000 万円の増の 3 億円を計上した。
- ・市債は、道路事業や防災事業に充てる普通債が 12 億 4,180 万円、一般財源である臨時財政対策債が 5 億 5,000 万円で、合計額は、前年度比 3 億 930 万円減の 17 億 9,180 万円を計上した。

(3) 歳出（一般会計）

平成 28 年度に実施する事業を総合計画における 6 つの政策により整理した主要な事業は、以下のとおりである。（別冊、予算参考資料の「平成 28 年度 主要事業等」参照）

◎印は、第 2 次総合計画における重点プロジェクトを示す。

1 【健康福祉】 支え合い、生き生きと暮らせる地域と人づくり

◎出会い創出事業〈新規〉 多くの人と出会う機会を提供するとともに、それに関わる団体の連携とスキルの向上を図る。	5 5 8 万円
◎新婚新生活支援事業〈新規〉 所得が基準以下の新婚世帯の住居に関する初期費用を補助することで若者の婚姻率の増加を図る。	3 6 0 万円
介護施設整備事業〈新規〉 小規模多機能型居宅介護施設及び認知症対応型共同生活施設（グループホーム）を整備する。	1 億 4, 7 8 7 万円
◎ファミリー・サポート・センター運営事業〈新規〉 地域において、育児の援助を受けたい人と行いたい人を仲介し、地域で子育てを行う環境づくりを支援する。	2 4 7 万円
◎子育て支援連携システム（まきはぐ）運用事業 子育て中の家庭が必要とする様々な情報を発信するとともに、電子データ化された子どもの健康情報から効率的な子育て支援を行う。	3 7 8 万円
◎放課後児童クラブ施設整備・運営事業〈拡充〉 放課後児童クラブの入所対象基準を 6 年生まで拡大し、子育て世帯の仕事と子育ての両立を支援する。また、利用希望者の拡大に伴い受け入れの適切な環境を確保するため、施設整備を行う。	1 億 8 9 3 万円

<p>◎子ども医療費助成事業</p> <p>子ども医療費（保険診療分）を全額助成することにより、子育ての経済的負担を軽減し、出産や子育てに対する不安を軽減する。また、医療費助成に伴い、子どもの早期受診を実現させ、子どもの健全な育成を図る。</p>	1億7,529万円
<p>地域医療振興事業〈新規〉</p> <p>牧之原市内に診療所等を開設する医師に対し、開設にかかる費用の一部を助成することで、医療サービスの充実を図る。</p>	5,000万円
<p>◎妊産婦通院等支援事業〈新規〉</p> <p>榛原総合病院の産科休診に伴う対応として、妊産婦の通院等に要する費用の一部を助成することにより、妊産婦の経済的、精神的負担の軽減を図る。</p>	1,050万円
<p>◎相良幼稚園認定こども園整備事業〈新規〉</p> <p>待機児童の発生防止対策として、相良幼稚園を幼保連携型認定こども園に整備する。</p>	3,360万円

2【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり

<p>◎英語力向上サポート事業</p> <p>外国人英語指導助手を配置し、語学力の向上により国際理解教育の推進、また、イングリッシュキャンプを実施し、子ども達の学習意欲の向上を図る。</p>	1,773万円
<p>◎理科支援員配置事業</p> <p>郷土出身の鈴木梅太郎博士や山崎貞一氏のように、子ども達が理科・科学分野への関心を高めるため、理科授業を一層充実させるとともに、実験等の環境を整えることで授業を改善し、学力の向上を図る。</p>	169万円
<p>学校施設トイレ洋式化事業</p> <p>学校の和式トイレを改修して全体の75%の洋式化を目指す。(平成28年度は、地頭方小学校、細江小学校、坂部小学校を改修する。)</p>	1,208万円
<p>◎ICT活用推進事業</p> <p>電子黒板やタブレットを活用した授業を取り入れ、児童生徒の興味関心を高め、学力の向上を図る。</p>	450万円
<p>榛原中学校校舎改修事業</p> <p>外壁、屋上防水を主体に大規模改修を実施する。また、トイレ洋式化や普通教室に空調設備も設置し、教育環境の充実を図る。</p>	1億5,137万円

3 【産業経済】 活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり

茶業振興事業 静岡牧之原茶のブランド力強化、消費及び販売拡大、茶文化の普及・啓発などを茶業関係者と連携し実施する。	649万円
農業基盤整備促進事業 道路に接続していない小区画で不正形な農地を大型機械による農作業の省力化や農地集積を図るための基盤整備を行う。	7,140万円
ふるさと納税推進事業 10,000円以上のふるさと納税（寄附）をした方（市内外不問）に、地元特産品等を記念品として贈呈する。（寄附金3億円を見込む。）	1億6,534万円
◎新拠点開発推進事業 東名高速道路相良牧之原インターチェンジ北側区域の開発を図るため、土地区画整理事業の実施に向けた調査、測量等を行う。	3,948万円
◎国内外観光プロモーション事業 観光協会や商工会などと連携し、地域の魅力ある観光資源を活用した着地型観光の商品化を図る。	233万円
東京五輪開催地・事前合宿地等誘致事業〈新規〉 東京五輪「サーフィン競技」における開催地・事前合宿地等の誘致活動を行う。	956万円

4 【生活基盤】 快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり

◎移住・定住支援事業〈新規〉 空き家のリフォーム費用及び残置物除去費用や、子育て家族の住宅取得を支援し、移住定住の促進を図る。	2,900万円
自主運行バス運営事業 JR駅を持たない当市の基幹的な交通手段として自主運行バスを運行し、市民の足の確保を図る。	1億 936万円
◎道路ストック補修支援事業 道路メンテナンスに係る土木構造物の点検、橋梁補修、法面補修を行うとともに、施設の長寿命化を図る。	2億6,136万円
社会資本整備総合交付金事業（道路事業） 市道大倉壺丁田線整備 L=1,545m 市道東萩間西原線改良 L=150m 市道相良1号線改良 L=45m	2億6,840万円
空港隣接事業（道路整備事業） 市道八ツ枝毛ヶ谷線改良 L=316m 市道並木外之久保線改良ほか3路線 測量調査	2億円

<p>◎相良牧之原 I C 北側地域排水路等整備事業</p> <p>市道布引原 23 号排水路 L=380m、 種苗センター跡地排水路 L=120m 市道布引原 25 号線、市道勝田 28 号線 測量設計</p>	7, 725 万円
<p>浸水・排水対策事業</p> <p>河川狭窄部改修工事（細江地区浸水対策） 西藤川ほか 2 河川 測量調査</p>	1, 200 万円

5 【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり

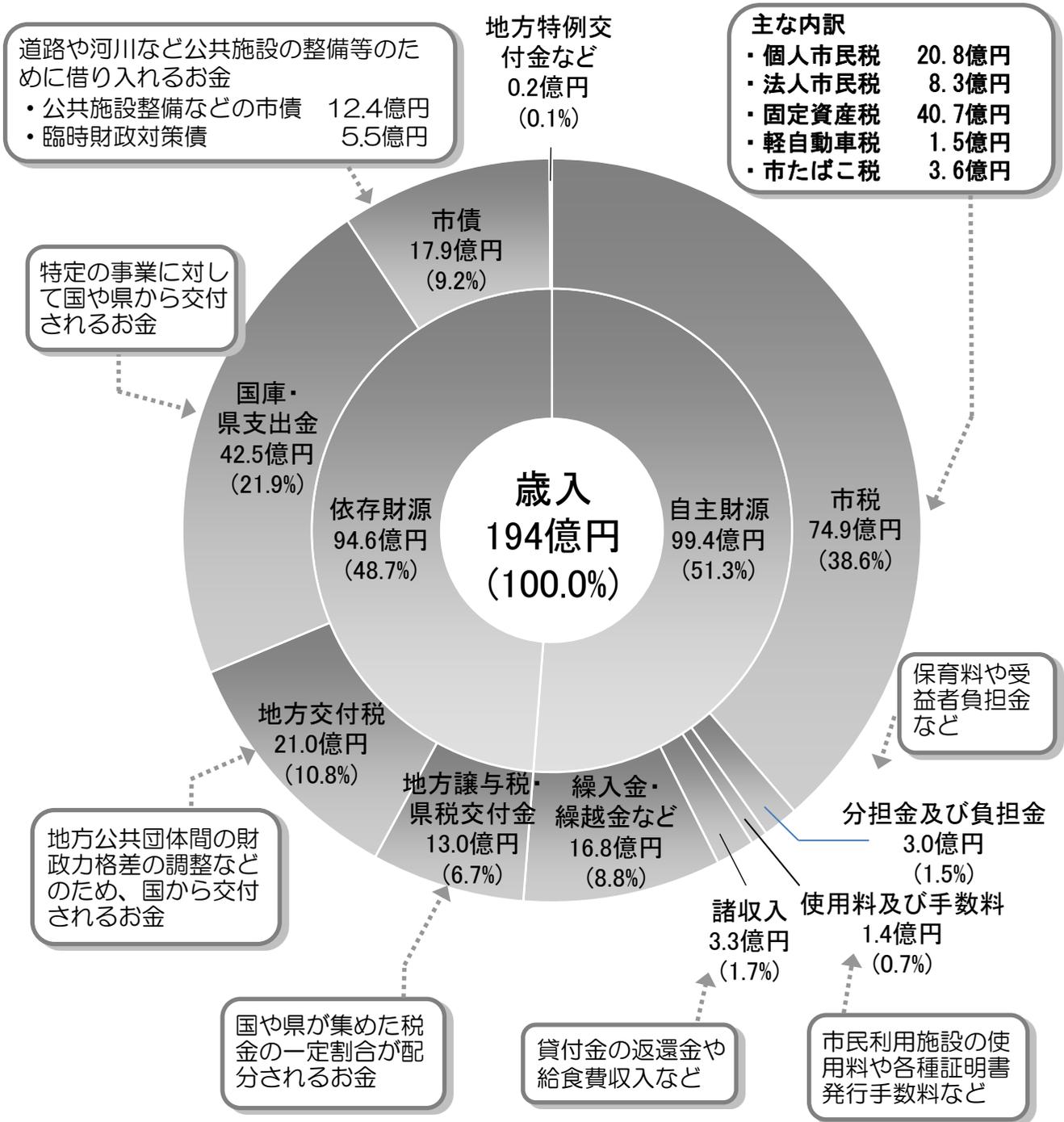
<p>都市防災事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波避難路等整備（3 億 1,764 万円） 市道須々木大溝線改良 L=170m 津波避難地避難路 工事 2 路線 ・津波防災対策公園整備事業（290 万円） 避難地となる公園にソーラー照明灯 2 基を設置する。 ・津波防災まちづくり事業（5 億 9,647 万円） 津波避難タワー整備工事 2 箇所、防災公園（いのち山）整備工事 2 箇所、防災倉庫整備工事 8 箇所 ・中学校自家発電施設整備事業（706 万円） 避難所として指定している中学校 1 校に整備する。 	9 億 2, 407 万円
<p>農村地域防災減災事業</p> <p>災害時に地域の拠点となる農業就業改善センターや被災による影響が大きいため池の耐震化整備を行う。</p>	5, 278 万円
<p>地頭方漁港海岸防潮堤整備事業</p> <p>レベル 1 の津波対策事業として防潮堤整備を行う。</p>	1 億 5, 500 万円
<p>プロジェクト「TOUKA I-O」総合支援事業</p> <p>昭和 56 年 5 月以前に建築された木造住宅の耐震化事業及び倒壊の恐れがあるブロック塀の撤去事業を平成 30 年度まで延長し推進する。</p>	2, 265 万円
<p>静岡地域消防救急広域化事業〈新規〉</p> <p>平成 28 年 4 月から島田市、吉田町、川根本町とともに静岡市に消防救急業務を委託し、消防力の強化を図る。</p>	6 億 529 万円

6 【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組づくり

<p>光ファイバ網整備事業〈新規〉</p> <p>市内全域で超高速ブロードバンドを利用できる環境を整備する。(菟間地区、地頭方地区、牧之原地区、勝間田地区、坂部地区)</p>	<p>5億8,689万円</p>
<p>◎地域の絆づくり事業</p> <p>住民が主体的に課題を考え、解決する取り組みによって地域の絆を深め協働のまちづくりを推進する。</p>	<p>300万円</p>
<p>◎公共施設等総合管理計画策定事業</p> <p>公共施設等の全体状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うための総合的管理計画を策定する。</p>	<p>587万円</p>

◆ 平成28年度
 わかりやすい一般会計当初予算参考資料

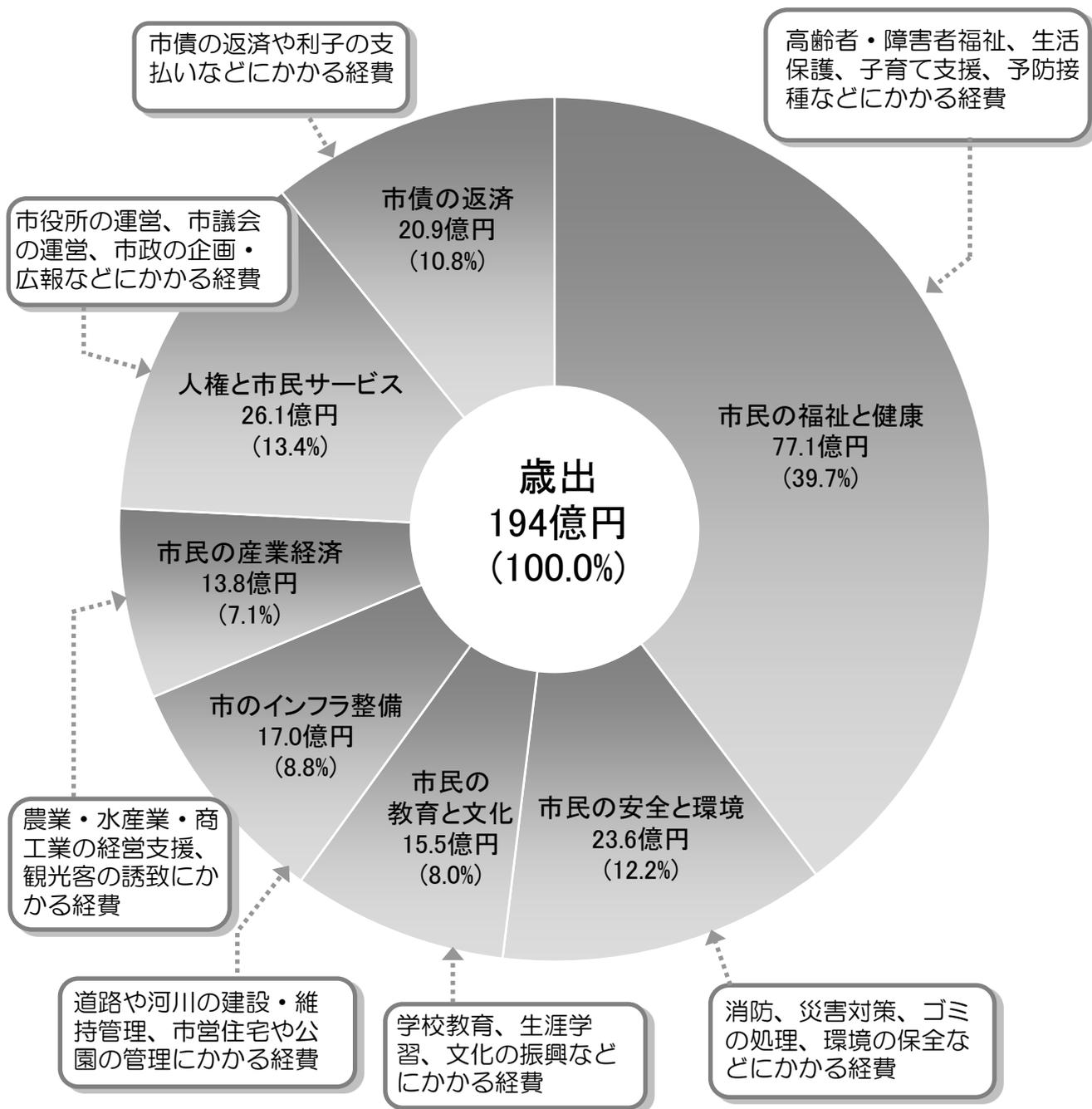
歳入(収入)について



市債
 市の施設は将来にわたって長期間使われるため、その整備費については今の市民だけでなく、将来の市民にも公平に負担してもらうという考えで市債を活用しています。しかし、借り入れに際しては、実質公債費比率の増加を抑えるため、交付税算入がある有利な起債を選択して借り入れを行っています。
 また、このほか標準的な行政サービスを維持するため、国が交付税として交付できない分を地方公共団体が肩代わりする臨時財政対策債も借り入れています。

※ 端数処理のため合計値が一致しない場合があります。(以下同様)

歳出(支出)について

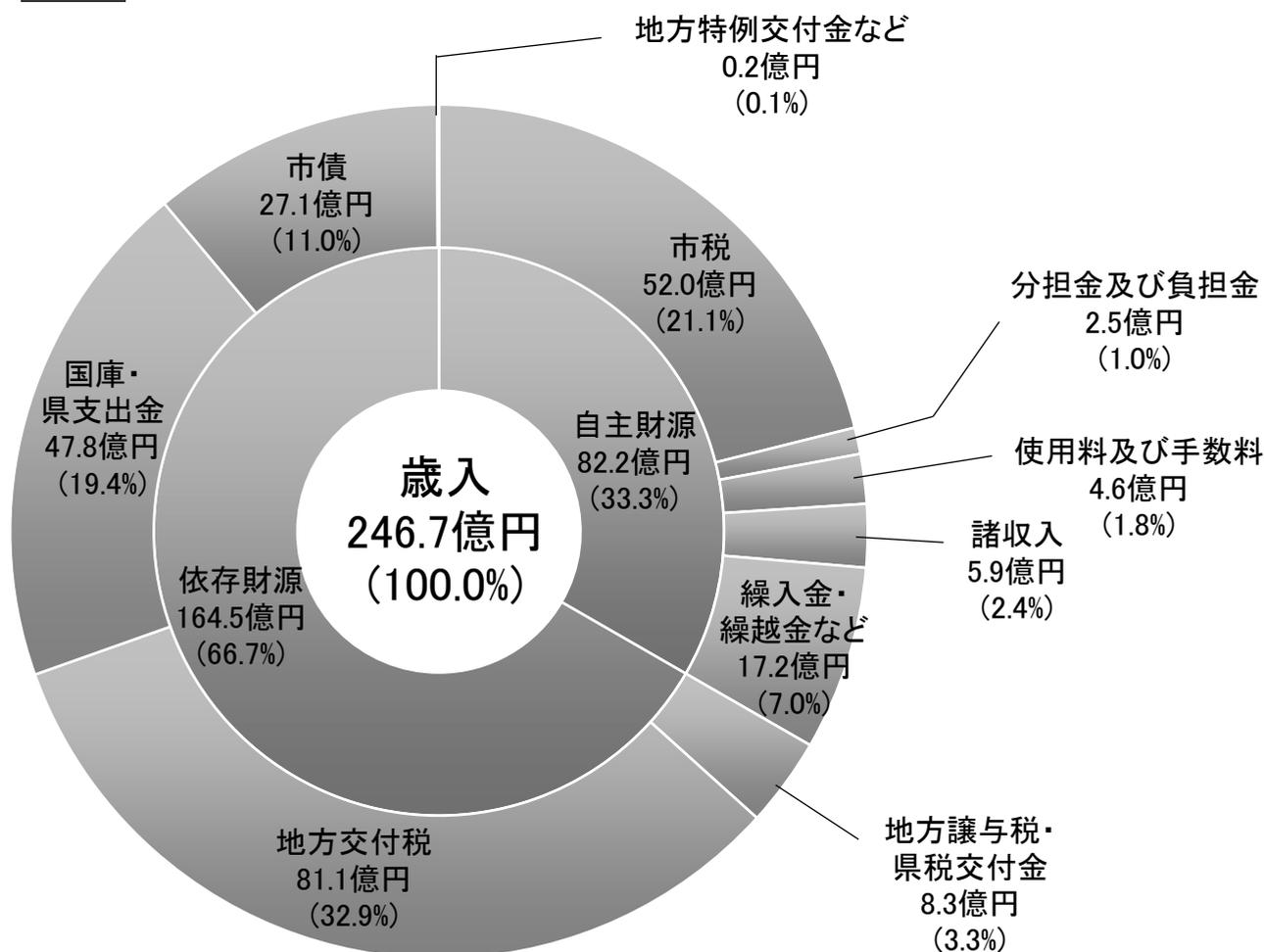


一般会計予算を市民一人当たりに換算すると、41万2,400円になります。
 (平成27年度 41万8,800円)
 特別会計含めた全会計では、64万3,000円です。

※ 平成28年1月1日現在人口 47,047 人(外国人含む)

◆ 類似団体の歳入と歳出(牧之原市の人口で換算した場合)

歳入

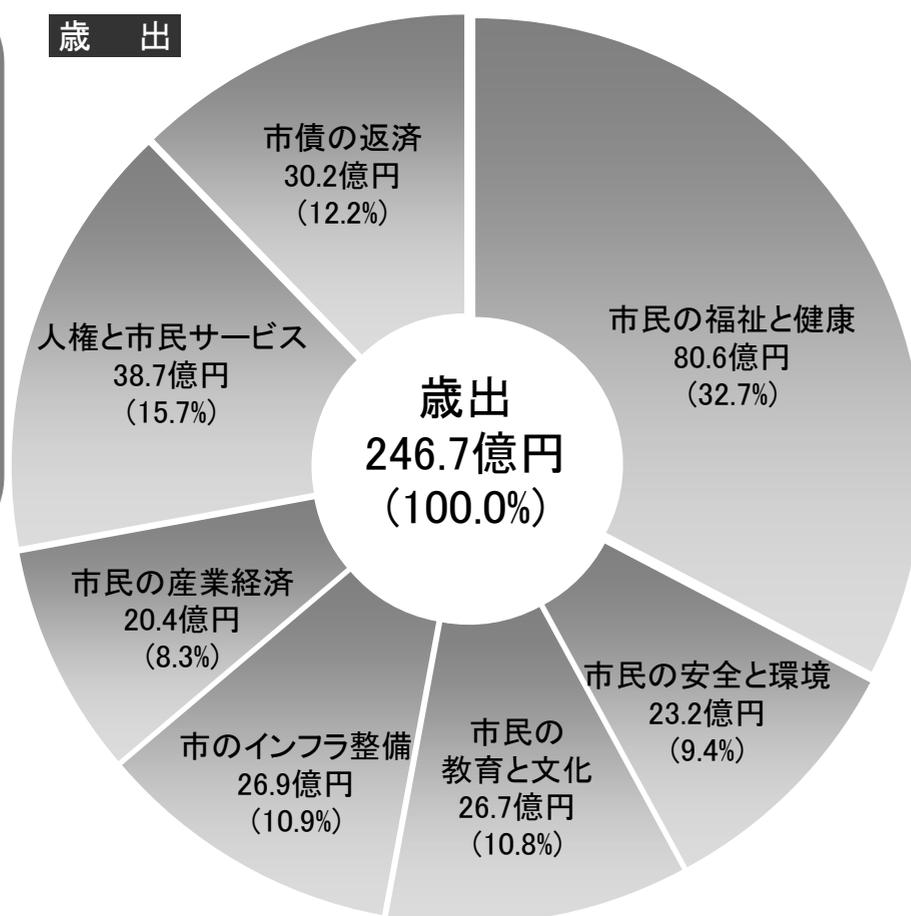


類似団体の一人当たりの平均額に牧之原市人口47,074人(H28.1.1外国人含む)を乗じた額を表示しています。

市民一人当たり52万4,400円となります。

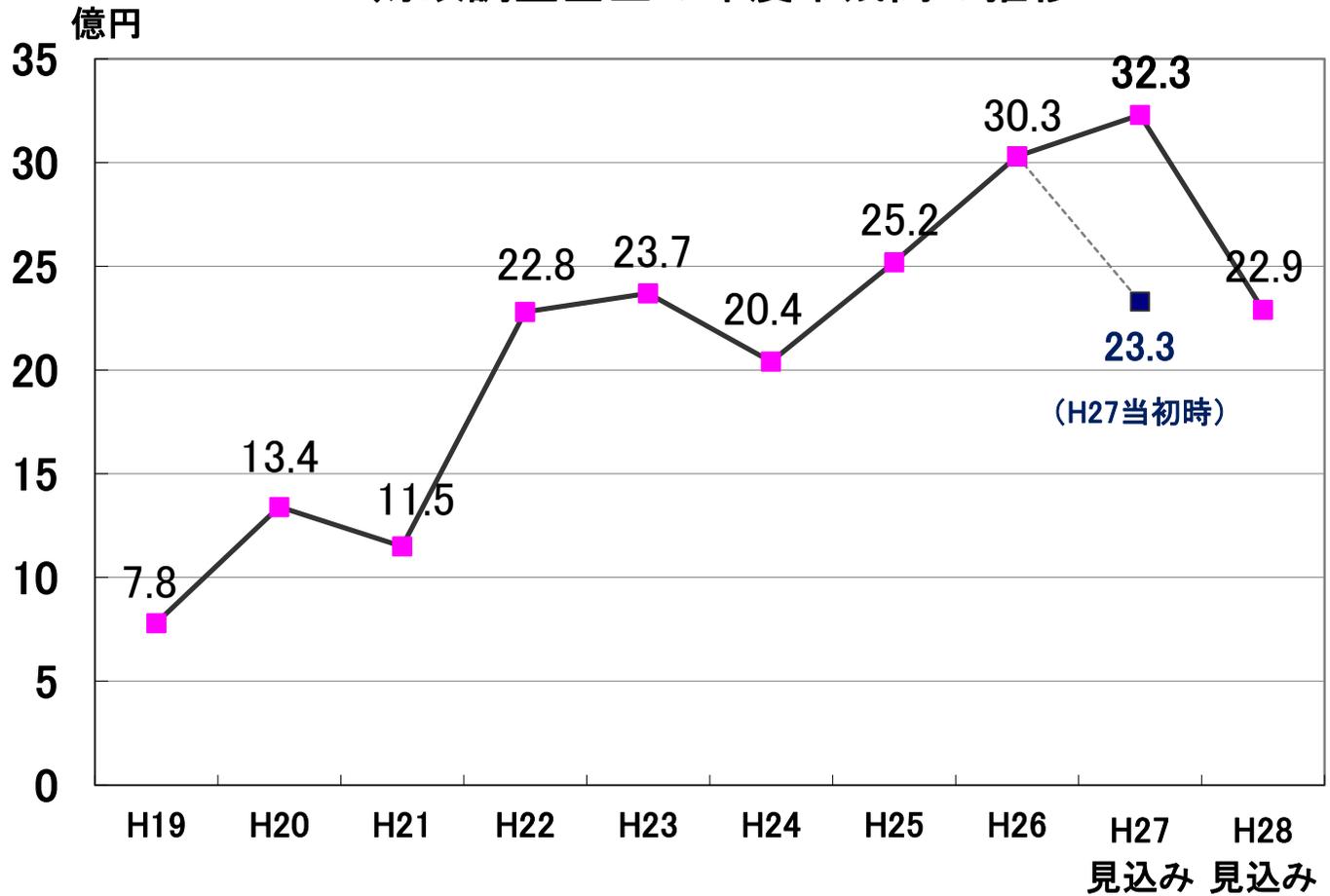
類似団体人口36,804人(H26.1.1外国人含む)

歳出



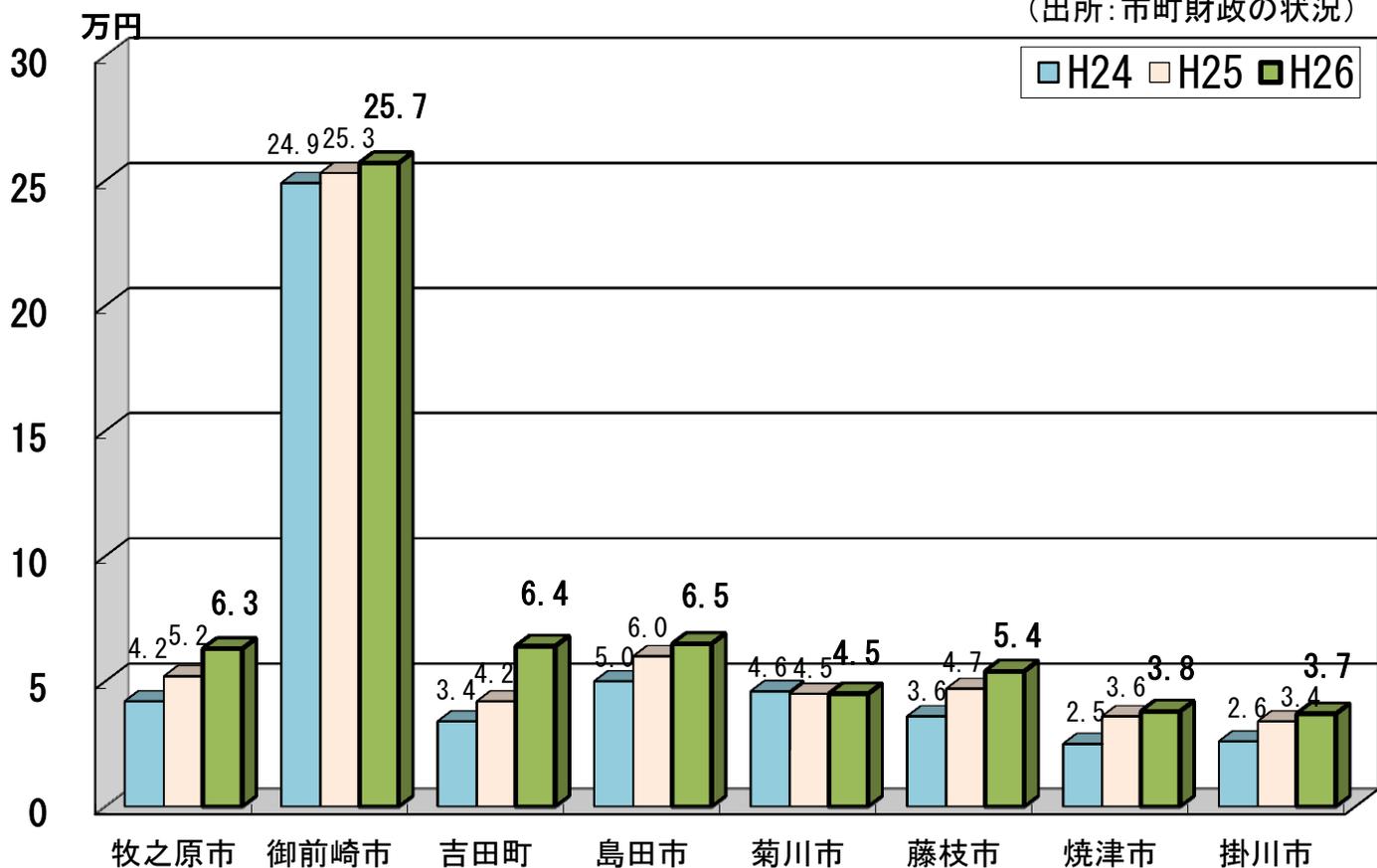
※ 類似団体のデータは決算数値(平成25年度 平均値)を基に分析しているため、歳入歳出額に差異が生じます。予算は歳入歳出同額のため、便宜的に歳出合計額に歳入合計額を一致させる処理をしています。

財政調整基金の年度末残高の推移

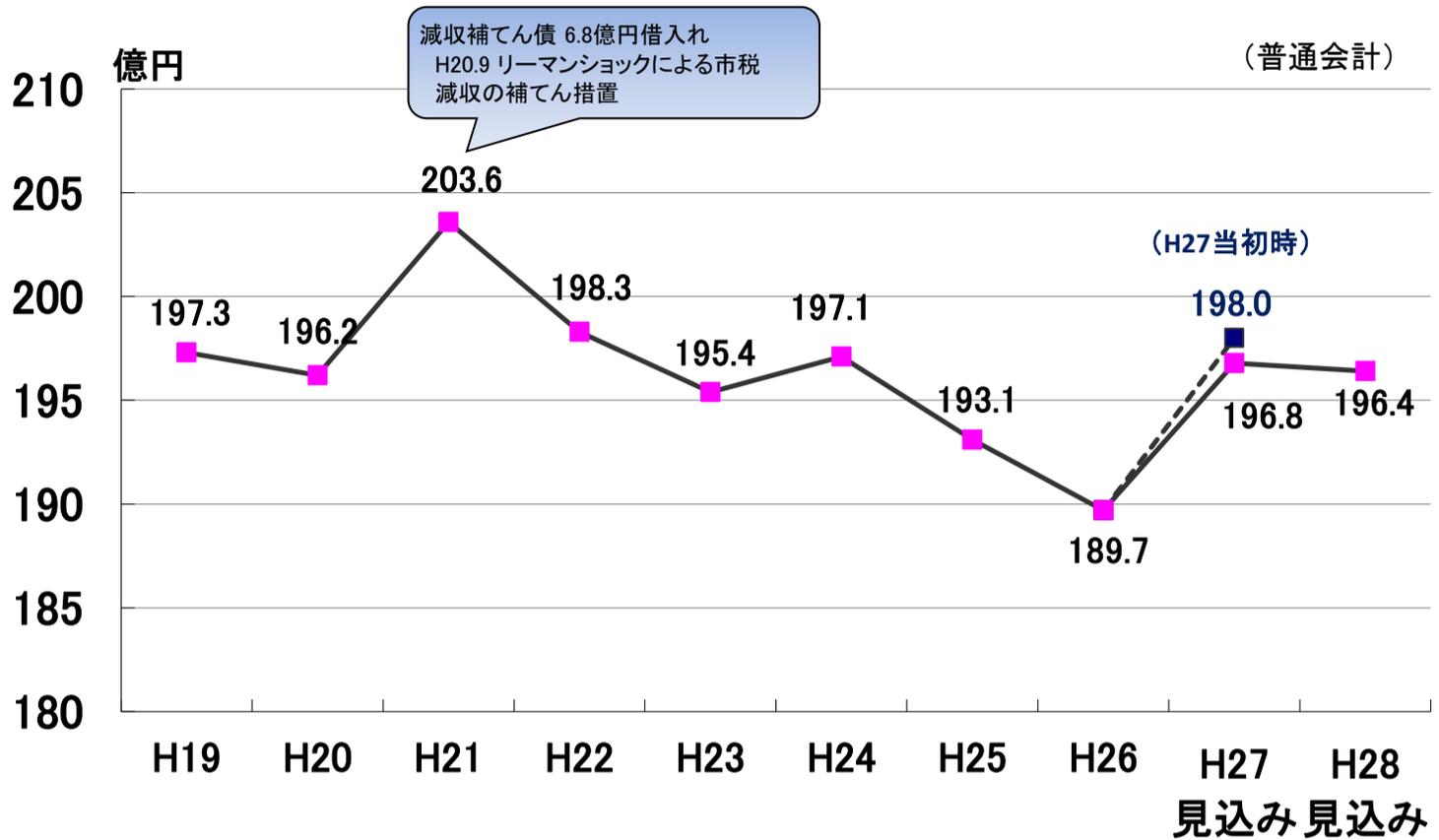


住民一人当たりの財政調整基金の額 (平成24~26年度末)

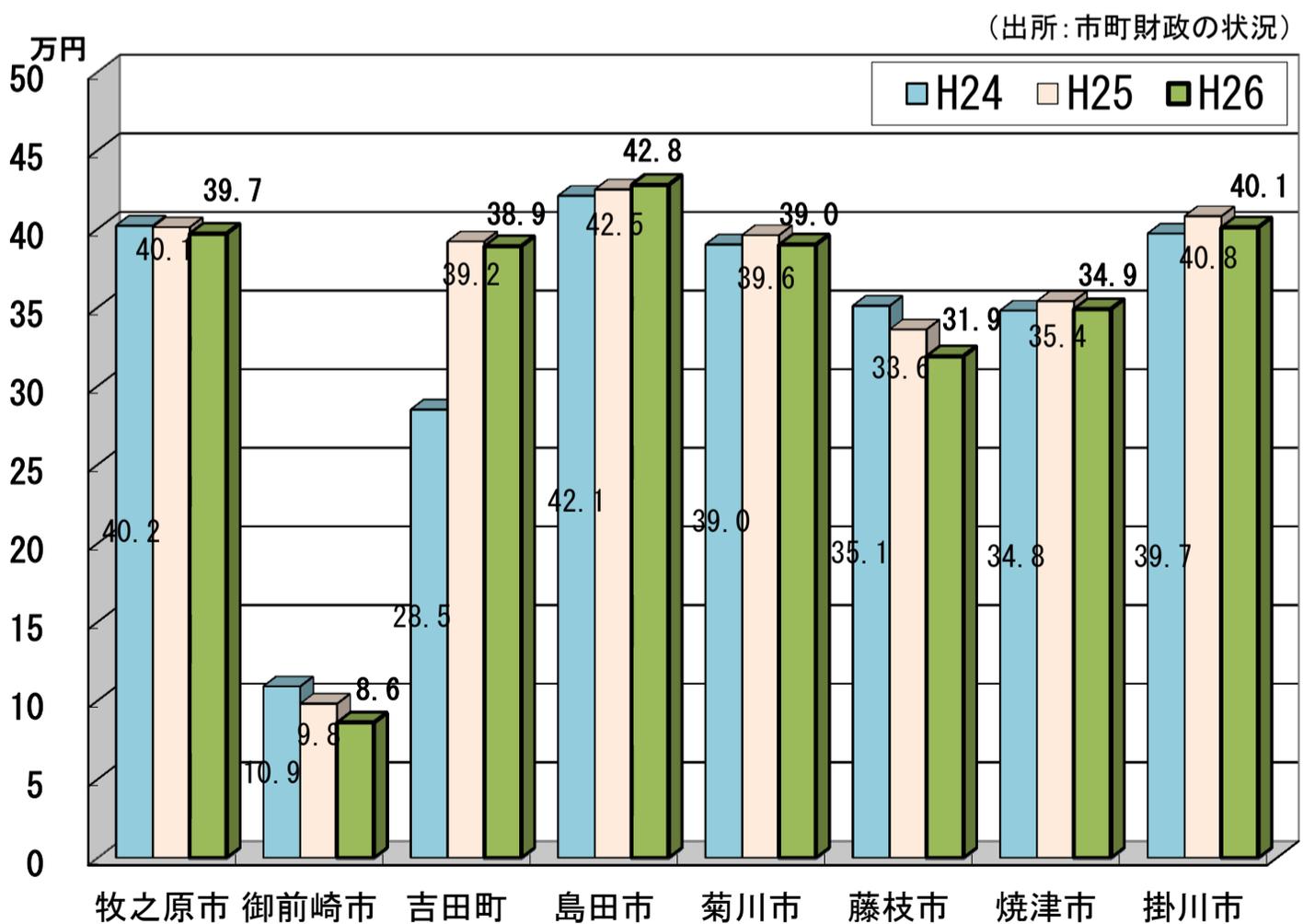
(出所:市町財政の状況)



市債の年度末残高の推移



住民一人当たりの借入残高(平成24～26年度末)



牧之原市の家計簿

※市の財政について、身近に感じていただくために、市の予算を家計簿に例えてみます。

～牧之原市の平成28年度予算を年収500万円の家計に例えると～

収入		支出		
給与	基本給（市税）	193万円（△ 2万円）	食費（人件費）	82万円（△ 4万円）
	諸手当（譲与税・交付金・国県支出金など）	168万円（ - ）	家族の医療費（扶助費）	78万円（ 8万円）
	貯金の取り崩し（基金繰入金）	28万円（ 4万円）	ローンの返済（公債費）	54万円（ 2万円）
	家賃収入（使用料・手数料など）	11万円（△ 1万円）	家の増改築費（投資的経費・維持修繕費）	95万円（△29万円）
本親からの仕送り	親からの仕送り（地方交付税）	54万円（ 6万円）	友人への支援金（補助費等・投資出資金）	95万円（ 17万円）
	生活資金の借入れ（臨時財政対策債）	14万円（ 1万円）	子供への仕送り（他会計への繰出金）	41万円（ 3万円）
	家の増改築の借入れ（その他市債）	32万円（△ 8万円）	その他の生活費（物件費など）	55万円（ 3万円）
	合計	500万円	合計	500万円

（ ）は前年比較

家の増改築に多額の支出が予想され、医療費も増額しており、食費や支援金、ローンの返済にかかる経費を削減する必要があります。収入では、基本給が減少した分、貯金の取り崩しや仕送りで賄っている状況です。生活必需品に係る経費が伸びているため、抜本的に生活習慣の見直しが必要になってきています。

◆今後の財政運営について

将来世代に過度な負担を残さないよう、次のような目標（方針）を設けて計画的な財政運営に努めていきます。

※表中の記号は、目標に対しての達成度合を示します。



主な目標（方針）の内容	27年度予算	28年度予算
一般会計の市債残高が200億円を超えないように努めます。	198.0億円 	196.4億円 
毎年度の「プライマリーバランス」の黒字を維持します。 <small>プライマリーバランスとは、歳入総額から市債額を差し引いた金額と、歳出総額から公債費を差し引いた金額のバランスを言います。 バランスが釣り合っているとは、税金など借金に頼らない収入によって、借金返済額を除いた支出総額を賄えることを意味します。</small>	0.3億円の赤字 	3.0億円の黒字 
「将来負担比率」が早期健全化基準（350%）以下を維持します。 <small>将来負担比率とは、借金など将来支払うことが決まっている市全体の負債額が、1年間の収入総額に対してどのくらいの割合かを示したものです。</small>	65.6% 	49.3% 
「実質公債費比率」が18%を超えないようにします。 <small>実質公債費比率とは、標準的な年間収入に対して市債等の返済額の占める割合を示したものです。</small>	12.8% 	10.5% 
「財政調整基金」の残高30億円を目指します。	23.3億円 	22.9億円 



予算規模

一般会計

194億円 対前年当初比 $\Delta 6$ 億円 $\Delta 3\%$

さあ みんなで “いくよ”
幸せあふれみんなが集うNEXTまきのほら

全会計

区 分	27当初	28当初	増減	伸 率
一般会計	200億円	194億円	$\Delta 6$ 億円	$\Delta 3\%$
特別会計	111.2億円	108.5億円	$\Delta 2.7$ 億円	$\Delta 2.4\%$
合 計	311.2億円	302.5億円	$\Delta 8.7$ 億円	$\Delta 2.8\%$

活力を取り戻す!

牧之原市創生予算

創生関連事業予算は前年度の2倍
13億6,857万円

区分	平成27年度	平成28年度	対前年度比	2月補正計上額	計
牧之原市創生 関連事業予算	6億3,898万円	13億6,857万円	214%	6,699万円	14億3,556万円
予算に対する 割合等	3.2%	7.1%	-	-	-

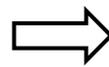
- ◇ **連携強化** (産官学金労言)
- ◇ **絆と元気** (対話でつくる!)

幸せあふれみんなが集う牧之原市へ

牧之原市創生事業

+

移住定住支援



◆光ファイバー網整備事業

空き家リフォーム等補助

◆宝 子ども育成プロジェクト

子育て家族定住支援奨励金

◆地域経済対策

牧之原体験ツアー

高台開発プロジェクト

産業雇用プロジェクト

移住生活支援サポート

◆健康で活躍プロジェクト

空き家・空き地バンク

◆公共施設最適化プロジェクト

移住定住促進

安全安心(津波防災まちづくり)

光ファイバー網整備（新規）

◎事業費 **5億8,689万円**

情報取得格差是正（社会基盤整備）

各分野におけるICT活用による活性化
利便性の向上

企業、施設誘致・移住定住等の
必須アイテム

市内100%整備

整備完了箇所から順次運用



宝 子ども育成プロジェクト



◆妊産婦通院等支援事業（新規） **1,050万円**
妊産婦の健診及び出産の通院に係る交通費を助成



◆子育て支援連携システム運用事業 **378万円**
子育て中の家庭へ情報発信（スマホで情報）

◆放課後児童クラブ施設整備・運営事業 **1億893万円**
入所対象基準を小学6年生まで拡充



◆ファミリー・サポートセンター運営事業（新規） **247万円**
地域で子育てを行う環境づくり

宝 子ども育成プロジェクト

◆子ども医療費助成事業（医療費の無料化）
 中学3年生までの医療費の全額助成 **1億7,529万円**



◆英語力向上サポート事業 **1,773万円**
 語学力の向上、イングリッシュキャンプの実施等



◆ICT活用推進事業 **450万円**
 電子黒板やタブレット活用事業による学力の向上

◆地域医療振興事業（新規） **5,000万円** ※
 診療所開設支援（開設に係る費用の一部助成）



輝く 高台開発プロジェクト

◎事業費 **8,092万円** 相良牧之原IC周辺開発ほか
 土地区画整理事業の実施に向けた調査、測量等の実施



魅力ある 産業雇用プロジェクト

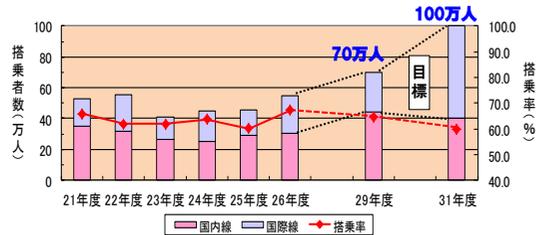
MIJBC構想による対日投資促進事業

◎事業費 **2,784万円**(2月補正予算)

富士山静岡空港・日本の技術とブランド力 + 中国の資金力と購買力



- ・中国現地広報・調査事業
- ・マッチング調査
- ・マッチングセミナーの開催
- ・MIJBC情報センター設立準備 等



平成26年度外国人出入国者数:約19.1万人
全国第8位(地方管理空港5年連続トップ)

日本企業への中国投資・中国投資による企業創設

魅力ある 産業雇用プロジェクト

官民連携によるビーチ等でのスポーツを活かした観光まちづくり事業

◎事業費 **3,614万円**(2月補正予算)

- ◇観光状況調査 ビーチ、里山スポーツ活用計画の策定
- ◇ビーチスポーツ関連事業の起業支援や誘致
- ◇観光まちづくりのDMO組織設立の検討
- ◇地域資源の魅力のブランド化と観光まちづくり戦略の策定
- ◇国際大会や合宿の誘致活動 等

自然・文化・催し・もの……そして、人……



東京五輪(サーフィン)を牧之原市で!

“若者が集う新たな魅力創出”

◎事業費 **956万円**

開催地・事前合宿地等の誘致活動

- ・ 牧之原市を世界に発信
- ・ 国際交流や青少年育成
- ・ オリンピックレガシーを残す!



健康で活躍プロジェクト

◎事業費 **2,044万円**

◇特別会計

生活支援・介護予防充実、強化事業 (1,088万円)
認知症予防対策事業 (133万円)



◇一般会計

元気な高齢者創出モデル事業 (17万円)
自治基本条例推進費 (806万円)



地域の絆づくり事業(対話による協働のまちづくり)

- ・ 高齢者の活躍の場づくりなどの検討
- ・ 若者の出会いの場の創出

公共施設 最適化 プロジェクト

◎事業費 **587万円**

2/28 公共施設マネジメント報告会

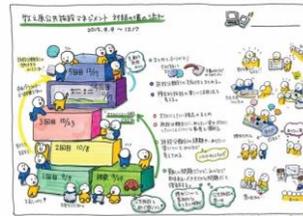
3月 自治基本条例推進会議が市に答申

- ・公共施設マネジメント基本計画の決定
- ・**庁舎**及び**学校施設**について先導的に検討

◇空き施設の有効活用(機能替)

◇リニューアル・建替(更新)

◇統合・廃止



“次代に向かって”市民サービスと行政経営の向上

移住定住支援（新規）

◎事業費 **3,155万円（再掲）**



◇空き家・空き地バンク

◇空き家リフォーム等補助(バンク活用)
35万円を上限 (350万円)
リフォームや移住者自ら実施する
工事の原材料費も対象

◇子育て家族定住支援奨励金

子ども2人で (2,550万円)
新車購入の場合100万円
市外だけでなく**市内の方も対象**